

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

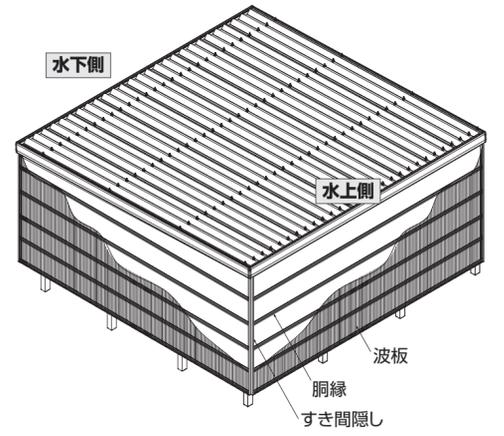
- 改訂**
- 規格 D36 を追加しました。
 - ゆき盛くんII・耐風くんII light を追加しました。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

- お願い**
- 商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
 - 商品の組立・施工については必ず説明書に従ってください。
 - 組立は、所定のねじを使用して最後まで締付けてください。締付け不良は事故の原因になります。
 - みだりに改造や変更はしないでください。
 - 取扱説明書を施主様にお渡しください。

本説明書は、「SSポートGII、ゆき盛くんII・耐風くんII 3面囲い 波板パネル」の組立・施工要領について説明しています。本体の組立・施工については、各同梱の組立・施工説明書を併せて参照してください。

全体構成図



基礎について

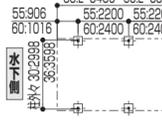
柱の位置決め

お願い

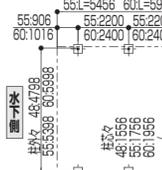
柱位置を決める際、家屋の屋根、軒などにカーポートが干渉しないように考慮してください。

本体4本柱+3面囲い

■1台用

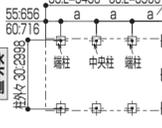


■2台用

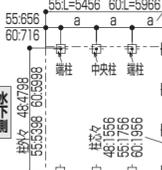


本体6本柱+3面囲い

■1台用



■2台用

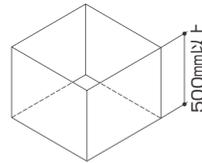


基礎寸法

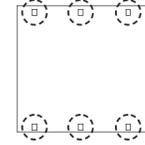
- 下表は3面囲い時の背面パネル部の基礎(□部)寸法を示しています。本体部の基礎(○部)については「SSポートGII、ゆき盛くんII・耐風くんII単体」のサイドパネル基礎寸法を参照ください。
- 基礎寸法は、下表を基に柱高さ、および地耐力に従ってください。

	①独立基礎		②土間コンクリート考慮基礎	
	地耐力 50KN/m ²	地耐力 100KN/m ²	地耐力 50KN/m ²	地耐力 100KN/m ²
標準高さ	800	530	480	390
セミハイールフ	1010	750	620	420

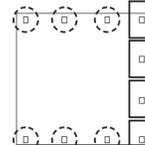
- 基礎は、①独立基礎と②土間コンクリート考慮基礎の2種類があります。
- ②の場合は、「土間コンクリート考慮の基礎条件」を満たしていることを確認してください。
- 寒冷地で凍上するおそれがある場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。



本体6本柱



本体6本柱+3面囲い



- 基本のサイドパネル基礎と同等
- 背面パネル基礎

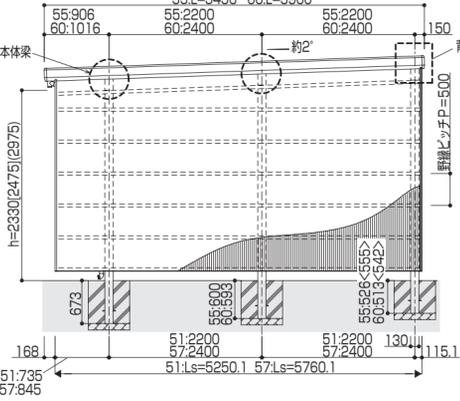
土間コンクリート考慮の基礎条件

- 土間コンクリート厚 : 100mm以上、有筋
 - 土間コンクリート強度 : 18N/mm²以上
 - 緑端距離 : 200mm以上
 - 地耐力 : 50(100)KN/m²以上
- ③ 緑端距離200mm以上
隣地境界等の土間コンクリート端部
有筋
① 土間コンクリート厚 100mm以上
④ 地耐力 50(100)KN/m²以上

寸法図 (単位: mm)

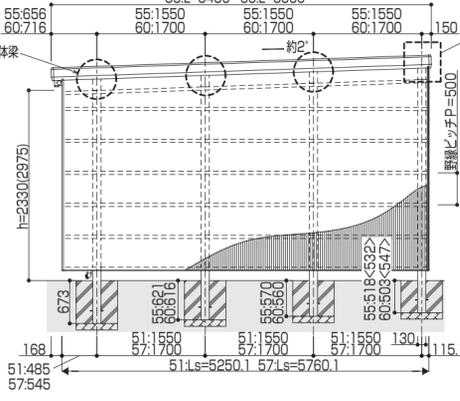
本体4本柱+3面囲い

■側面

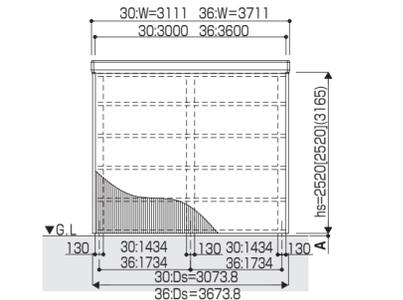
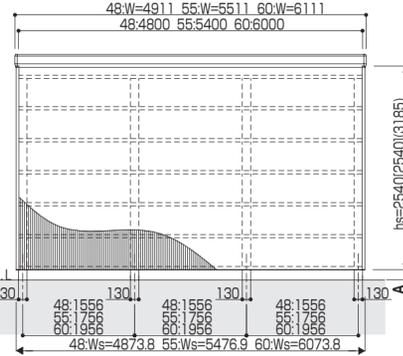


本体6本柱+3面囲い

■側面



■背面



高さh	間口W	奥行L	A
2330	30/36	55	26
		60	19
		55	155
2475	48/55/60	60	148
		55	171
		60	164
2975	30/36	55	300
		60	293
		55	26
48/55/60	60	19	126
		55	119

[]内寸法は、h=2475の場合
()内寸法は、h=2975の場合
< >内寸法は、本体梁と背面梁の高さが異なる場合

同梱一覧

■柱 GCD-(DS)A24C-#

品名	柱
GCD-(DS)A24C-1	1
GCD-(DS)A24C	2
備考	-

■柱 GCD-(DS)A###-1

品名	柱
GCD-(DS)A###-1	1
備考	-

■背面梁 DSP-(DS)C###-V3

品名	梁
DSP-(DS)C###-V3	1
備考	-

■部品(背面柱梁) DSP-(DS)B1-##-V3

品名	柱アンカー	梁キャップ		柱・梁連結金具		裏板	柱キャップ	スペーサー	座金組込六角ボルト (M10×20)	六角ボルト (M10×30)	六角ナット (M10用)	スプリングワッシャー (M10用)	中トラスタッピンねじ2種 (φ4×25)
品番	K-11711	2K-36089	2K-36091	5K-11168	5K-11169	5K-11171	5K-11172	5K-11173	3K-18992	SBH-M10030	N-M10	SW-10	BM-4025GD8
DSP-(DS)B1-3V3	3	2	-	-	3	6	3	3	12	12	12	12	6
DSP-(DS)B1-4V3	4	-	2	-	4	8	4	-	16	16	16	16	6
DSP-(DS)B1-4HV3	4	-	2	4	-	8	4	-	16	16	16	16	6
備考	L=200mm	150用	280用	□120柱および □130柱(t=5.5)用	□130柱 (t=2.6、3.4)用	-	□130柱用	□130柱用	柱・梁連結用	柱・梁連結金具 取付用	柱・梁連結金具 取付用	柱・梁連結金具 取付用	キャップ取付用

■タイトフレーム GCD-(DS)F##-2

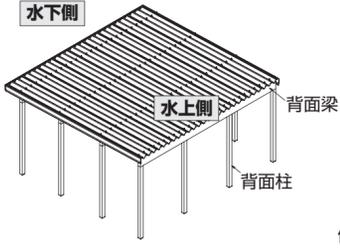
品名	タイトフレーム	タイトフレーム	折板取付ナット	ボルトキャップ	トラスタッピンねじ (φ5×10)
品番	4K-19023	4K-19024	4K-19025	2K-35365	ET-5010
GCD-(DS)F30-2	2	4	16	16	20
GCD-(DS)F36-2	2	5	19	19	24
GCD-(DS)F48-2	2	7	25	25	32
GCD-(DS)F55-2	2	8	28	28	36
GCD-(DS)F60-2	2	9	31	31	40
備考	端部	中間部	-	-	タイトフレーム取付用

■枠(背面3段) ESP-(DS)A#####-V

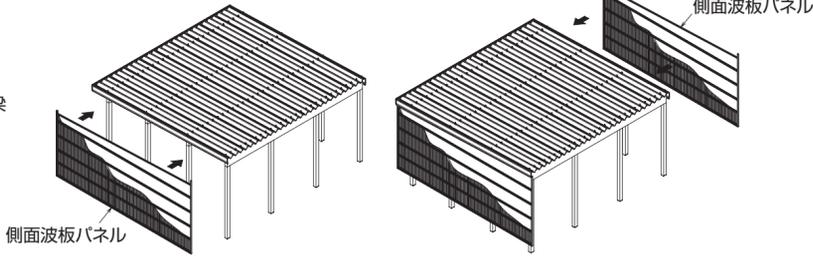
区分	部材											部品										
品名	胴縁	下胴縁	すき間隠し	小口カバー (3面囲い用)	波板固定ねじ	波板固定ねじ	なべドリルねじ (φ5×19)	なべドリルねじ (φ5×19)	なべドリルねじ (φ5×19)	なべドリルねじ (φ5×19)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	組立・施工説明書									
品番	-	-	-	6K-15981	6K-14752	6K-14752	DN-5019	DN-5019	DN-5019	DN-5019	ET-5010	ET-5010	-									
ESP-(DS)A3024-V	5	1	2	2	96	2	24	48	10	2	4	2	1									
ESP-(DS)A3624-V	5	1	2	2	114	2	24	48	10	2	4	2	1									
ESP-(DS)A4824-V	5	1	2	2	150	2	24	48	10	2	4	2	1									
ESP-(DS)A5524-V	5	1	2	2	168	2	24	48	10	2	4	2	1									
ESP-(DS)A6024-V	5	1	2	2	186	2	24	48	10	2	4	2	1									
ESP-(DS)A3030-V	6	1	2	2	112	2	28	56	12	2	4	2	1									
ESP-(DS)A3630-V	6	1	2	2	133	2	28	56	12	2	4	2	1									
ESP-(DS)A4830-V	6	1	2	2	175	2	28	56	12	2	4	2	1									
ESP-(DS)A5530-V	6	1	2	2	196	2	28	56	12	2	4	2	1									
ESP-(DS)A6030-V	6	1	2	2	217	2	28	56	12	2	4	2	1									
備考	-	-	-	-	波板取付用	予備	側面胴縁取付用	背面胴縁取付用	すき間隠し取付用	予備	小口カバー取付用	予備	-									

施工手順

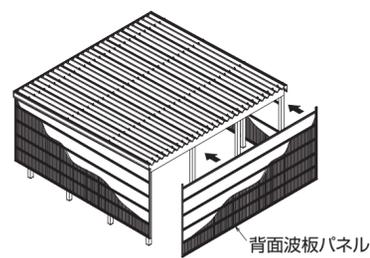
1. 本体の組立



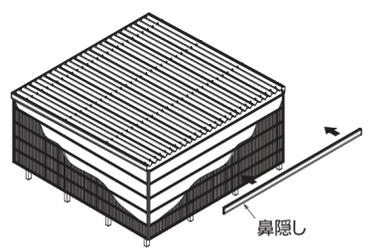
2. 側面波板パネルの取付



3. 背面波板パネルの取付



4. 鼻隠しの取付

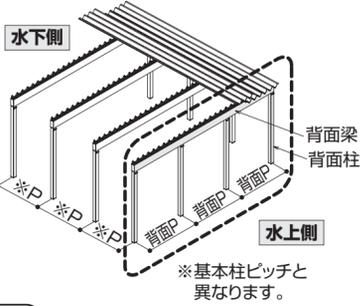


1. 本体の組立

本体の組立・施工、背面柱・背面梁の取付けについては、「SSポートGⅡ、ゆき盛くんⅡ・耐風くんⅡ」本体の組立・施工説明書を参照してください。
背面柱・背面梁の取付位置については、本説明書の寸法図を参照してください。

▲ 注意

- 3面囲い時は背面柱が追加になるため、折板・鼻隠しの加工・取付位置が変わります。本説明書では、異なる部分のみ記載しています。
- 本体梁と背面梁の高さが異なる場合、高さ違い分(29mmまたは129mm)背面柱を切詰めるか、深く埋め込んでください。
- 水上側の鼻隠しは取付けないでください。3面囲い施工後、取付けます。



ポイント

背面の柱・梁は、本体セットと異なる場合があります。

- 背面梁：PLラベルの貼付けられていない梁
- 背面柱：標準高さ □130(t2.6)
セミハイルーフ □130(t4.3)※
ハイルーフ □130(t5.5)※
※W30の場合(t2.6)

■ 折板・鼻隠し(側面)の加工位置

呼称長さ L	折板長さ Lr	仕様	加工位置
55 [60] ※1	5390 [5900]	本体4本柱 + 3面囲い ※2	
		鼻隠し	
	本体6本柱 + 3面囲い	折板	
		鼻隠し	

※1: [] 内寸法は、L60の場合
※2: 本体4本柱+3面囲いの場合、折板同士が重なり合う長尺方向の梁間の中央部にルーフト取付用の穴加工(φ12)を施してください。

2. 側面波板パネルの取付

「SSポートGⅡ、ゆき盛くんⅡ・耐風くんⅡ波板パネル」の組立・施工説明書を参照してください。

▲ 注意

3面囲い時は背面柱が追加になるため、胴縁・下胴縁の加工・取付位置、小口カバーが変わります。本説明書では、異なる部分のみ記載しています。

● 胴縁、下胴縁の加工

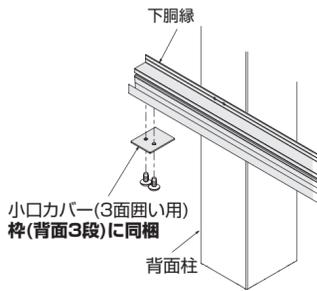
L	側面から見た柱本数	n1	出幅寸法		加工ピッチ P1
			A1	A2	
55	3	3	733	112	2200
60			842	112	2400
55	4	4	483	112	1550
60			542	112	1700

ポイント

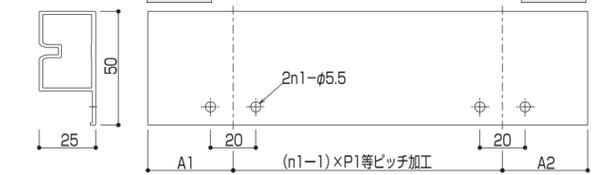
- 柱移動をした場合は、柱位置にあわせて穴(φ5.5)をあけてください。
- 胴縁1、2は同寸法、同形材ですが、取付ける向きが異なるため、ここでは区別しています。

● 小口カバーの取付

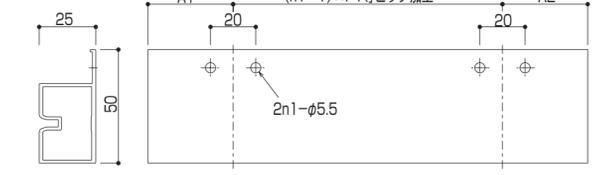
側面下胴縁に取付ける小口カバーは、枠(背面3段)と同梱の小口カバー(3面囲い用)を取付けてください。



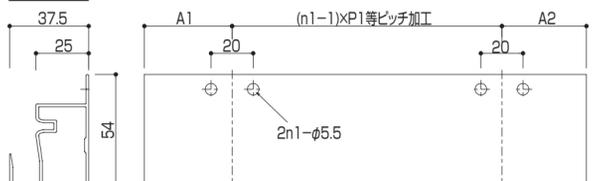
胴縁1



胴縁2



下胴縁

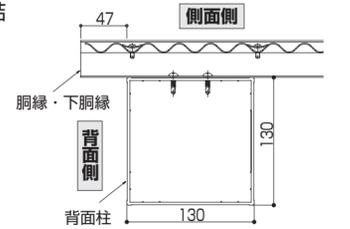


● 側枠の切詰

波板パネルの組立・施工説明書にて切断したB寸法を更に20mm上側から切詰めてください。

● 胴縁の取付

背面柱より47mm背面側に出してください。



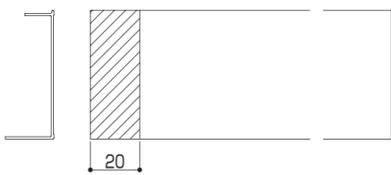
2台用ハイルーフ柱に取付ける場合

下穴(φ4.4)をあけ、ねじで固定してください。

3. 背面波板パネルの取付

1 すき間隠しの切詰

L55に取付ける場合は、20mm切詰めてください。



2 胴縁・下胴縁の加工

W	背面から見た柱本数	n1	加工ピッチ P1
30	3	2	1434
36			1734
48			1556
55	4	3	1756
60			1956

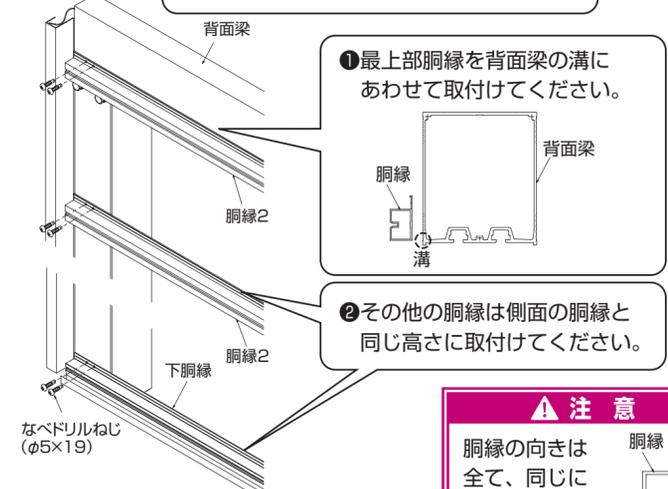
ポイント

柱移動をした場合は、柱位置にあわせて穴(φ5.5)をあけてください。

3 胴縁の取付

2台用の梁に取付ける場合

下穴(φ4.3)をあけ、ねじで固定してください。



①最上部胴縁を背面梁の溝にあわせて取付けてください。

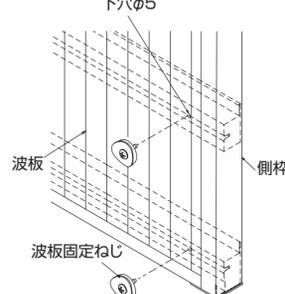
②その他の胴縁は側面の胴縁と同じ高さに取付けてください。

▲ 注意

胴縁の向きは全て、同じにしてください。

4 波板の取付

波板を現合で切断してください。波板にφ5の穴を胴縁の溝に沿ってあけ、波板を取付けてください。



ポイント

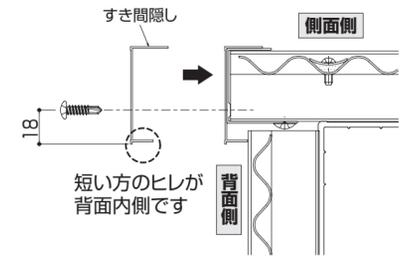
波板の重なり代は1.5山以上とし、重なり部、端部は必ず固定してください。

4. 鼻隠しの取付

「SSポートGⅡ、ゆき盛くんⅡ・耐風くんⅡ」本体の組立・施工説明書を参照してください。

5. すき間隠しの取付

側面波板パネルにすき間隠しを取付けてください。



ポイント

側面胴縁間に現合で取付けてください。

ポイント

最下部は側面下胴縁の下面より50mmの位置に取付けてください。

